あの世への旅だち

死と葬送と死後の世界を紹介します。

妖怪は、人びとの生活の中から生み出され、その歴史とともに様々な妖怪が登場してきました。その姿を生み出したのは人間の想像力だったといわれています。また、人びとが抱いていた人の死にまつわる不安や恐れなどについて、絵巻物、日本画、浮世絵などの様々な資料を通して紹介します。

描かれた妖怪たち

妖怪は人びとの生活から生み出され、その歴史とともに様々な妖怪が登場してきました。

怪談絵巻(稲生物怪録絵巻)

京都大学附属図書館蔵

備後国三次藩の藩士・稲生武太夫が少年時代に約30日間にわたり体験した怪異を描き記した絵巻です。一つ目の巨大な化物や男の割れた頭から這い出す赤子など、さまざまな妖怪が登場します。

枕屏風

西生寺蔵

浄土思想のうち、特に来迎を具現化した屏風です。

死者が出ると死者を北枕に寝かせ、西側にこの屏風を置きました。

この屏風は現在でも使用されています。

百鬼夜行絵巻

兵庫県立歴史博物館蔵

動物や鍋釜、五徳など、生活とともにあるさまざまなものが妖怪となり、深夜に京の街の闇の中を群れをなして行進する様子を描いた絵巻です。

地獄曼陀羅

国立歴史民俗博物館蔵

閻魔大王による量刑の場面から始まり、黒縄地獄・等活地獄などが描かれています。また、餓鬼道や修羅道といった六道全般、観音菩薩や地蔵菩薩、阿弥陀如来による救済の場面も描かれています。

雷光の図説・淀川の大魚

国立歴史民俗博物館蔵

淀川のほとりに現れた怪魚が描かれています。背筋には苔が生え、鏡のような目を持ち、イタチのような形で、足は亀のようであると記されています。体長は約2.3ｍ、重さは約75kgです。

河童想像模型

国立歴史民俗博物館蔵

高木春山の『本草図説』に描かれた河童をもとに制作された像です。享和元年六月に常陸国水府東浜で網にかかったもので、高さ約107㎝、重さ約45kgだったと記されています。

河童の頭

明石市立文化博物館蔵

昭和48年3月、島根県隠岐島沖で操業中の漁船の底曳き網で引き揚げられたものです。河童の頭部の皿がはずれるようになっています。

幽霊図

国立歴史民俗博物館蔵

乱れた長い髪の女性の幽霊が描かれています。体は青く表現されており、胸に浮いた肋骨、手も骨が浮いています。

輿(無常輿)

正行寺蔵

棺桶は輿にのせられて前後に人がつき、死者の息子が持ちました。この輿を担ぐ者は「ハクチョウ」と呼ばれる白い着物に袴を身につけました。

イベントのご案内

おとなもこどもも体験する考古学教室

第1回 火おこしと縄文クッキーをつくろう！

日　時　平成23年7月9日（土）
　　13：30～16：00
場　所　寺田コミュニティセンター調理室・文化パルク城陽敷地内
対　象　小学生以上
定　員　20名
参加費　おとな　700円
　　小中学生　540円
申　込　6月21日（火）午前10時より電話または来館にて受付

第2回 埴輪と土器をつくろう！

日　時　平成23年7月23日（土）
　　13：30～16：00
場　所　寺田コミュニティセンター美術工芸室
対　象　小学生以上
定　員　20名
参加費　未定
申　込　7月10日（日）午前10時より電話または来館にて受付

第3回 竪穴住居をつくろう！

日　時　平成23年8月13日（土）
　　13：30～16：00
場　所　寺田コミュニティセンター美術工芸室
対　象　小学生以上
定　員　15名
参加費　おとな　700円
　　小中学生　550円
申　込　7月21日（木）午前10時より電話または来館にて受付

第4回 貫頭衣を着て麻糸でブレスレットをつくろう！

日　時　平成23年8月20日（土）
　　13：30～16：00
場　所　寺田コミュニティセンター会議室
対　象　小学生以上
定　員　20名
参加費　おとな　250円
　　小中学生　100円
申　込　7月21日（木）午前10時より電話または来館にて受付

手作りワークショップ②「消しゴムはんこをつくろう！」

日　時　平成23年8月25日（木）
　　13：30～16：00（受付13：00～）
場　所　城陽市歴史民俗資料館　工作室
講　師　資料館職員
対　象　小学校4年生以上
定　員　20名
参加費　おとな　300円
　　小中学生　200円
申　込　7月21日（木）
　　午前10時より電話または来館にて受付

勾玉をつくろう！

夏休みは毎週水曜日と金曜日は勾玉デー‼

7月22日・27日・29日
8月3日・5日・10日・12日・17日・19日・24日・26日・31日の各回13：30～15：30
場　所　城陽市歴史民俗資料館　工作室
対　象　小学校3年生以上
定　員　15名
参加費　おとな　200円
　　小中学生　100円
申　込　7月10日（日）
　　午前10時より電話で受付

■交通案内
★近鉄京都線寺田駅下車　東口より南へ450m
★ＪＲ奈良線城陽駅下車　南西へ1300m
　ＪＲ城陽駅から市内循環バス有り

■開館時間　午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休 館 日　月曜日（祝休日の場合は開館）
　祝休日の翌日（土・日曜日の場合は開館）
　12月28日～1月4日

■観 覧 料　おとな　200円（140円）
　小・中学生　100円（70円）
＜団体料金＞おとな　160円（110円）
　小・中学生　80円（50円）
※団体は20名様以上
※（　）内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料
＜次の方は観覧料が免除されます＞
★城陽市内在住の65歳以上の方
★城陽市内在住の小・中学生
★城陽市内在住の身体障害者手帳等をお持ちの方
★城陽市外の小・中学校の団体観覧（但し、児童・生徒のみ）

ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。
「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。
古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

資料館マスコット「ごりごりくん」

五里ごり館 開館カレンダー ●印は休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	● 4	5	6	7	8	9
10	● 11	12	13	14	15	16
17	18	● 19	● 20	21	22	23
34	● 25	26	27	28	29	30
31						

7

日	月	火	水	木	金	土
	● 1	2	3	4	5	6
7	● 8	9	10	11	12	13
14	● 15	16	17	18	19	20
21	● 22	23	34	25	26	27
28	● 29	30	31			

8

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	● 5	6	7	8	9	10
11	● 12	13	14	15	16	17
18	19	● 20	● 21	22	23	34
25	● 26	● 27	28	29	30	31

9

五里ごり館通信　第3号　平成23年（2011年）6月24日発行
編集・発行　五里ごり館（城陽市歴史民俗資料館）　〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀１番地　TEL 0774-55-7611　FAX 0774-55-7612

平成23年6月24日（2011年）　第3号

五里ごり館通信

五里ごり館
城陽市歴史民俗資料館（文化パルク城陽　西館４階）
〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀１番地
TEL 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612

関連事業　○ふれあい交流イベント「西館４階はこわいよ！」（公益財団法人城陽市民余暇活動センターとの共催事業）

①「真夏の特選落語会」

日　時：平成23年7月30日（土）
　　14：00～（開場13：30）
会　場：文化パルク城陽　ふれあいホール
出演者：桂　宗助　他
料　金：前売り 2,500円、当日 3,000円

桂　宗助

②「あっという間の闇ツアーと火の玉実験」

日　時：平成23年8月14日（日）　14：40～15：20
会　場：コスモホール（闇ツアー）
　　寺田コミュニティセンター　美術工芸室（火の玉実験）
講師（火の玉実験）：島田 儉氏（公益財団法人城陽市民余暇活動センター職員）
対　象：小学校4年生以上
参加費：無料